

会津の木で建てよう・つくろう



会津坂下町立坂下東幼稚園



非住宅建築編

道の駅あいづ

会津産丸太を利用する利点

- ・森林の多面的機能の維持発展につながります
- ・大雨時の土砂崩れ等の被害防止にも役立ちます
- ・木の快適性・木の効果でより良い環境づくりへ
- ・会津材は目が詰まっており硬い木であることが構造設計時に有利です

会津産材の使い方

- 会津産材を利用する際は、発注方法や木の使い方を考えることで、調達や価格を調整しやすくなります。
- ・丸太を伐る期間は9月末～3月中旬（積雪期休業）
 - ・丸太は、製材、乾燥、加工して建築へ利用します。
 - ・木材量が多い場合は約1年前から準備が必要です。
 - ・建物計画時に木材組合等と事前調整することで、未調整発注に比べ木材費を抑えられます。

会津産材を使った公共建築事例



施設名称 会津坂下町立坂下東幼稚園



会津坂下町立坂下南幼稚園



喜多方市山都総合支所庁舎

階数・延床面積

平屋・1380.17㎡

平屋・1479.63㎡

平屋・680.18㎡

木造化概要

森林環境交付金を利用して木材の分離発注を行った。
単年度事業。
構造材、内装材共に学校林を利用した地元製材を利用している。
林野庁支援事業を受け設計者と木材事業者が調達調整した。

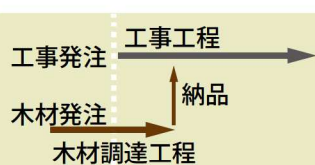
森林環境交付金を利用して木材の分離発注を行った。
2年計画とし、構造材と内装材を別に発注した。
構造材は製材と集成材とし、内装材に無垢材を利用している。
設計時に木材組合と調整した。

喜多方市木材利用推進方針にもとづき木造化の計画としている単年度事業。施工者一括発注。公募で選定した山から木を伐採、製材し庁舎建築へ利用している。製材利用で地元材率を高めた。設計時に木材組合と調整した。

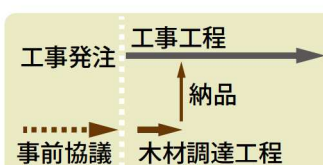
参考情報

分離発注方式とは？

木材の分離発注とは、地元材をより多く利用するために、工事より先に別発注する方式です。



工事一括発注方式でも木材組合等と事前協議を行い発注する事前協議発注方式もあります。



会津産材活用サポートのご案内

木材利用や木造建築設計・建設をサポートします

企画支援

公共施設や非住宅民間施設をつくる企画・計画が始まる際に、木造で建てることを検討してみませんか？木造は他構造より安く早く建設できる場合があります。木造化する際の参考情報等提供や計画の木造可能性をアドバイスできます。

設計支援

木造化設計を進める際には、地域の木材・製材協同組合が木材調達に関するアドバイスが可能。木材規格や調達期間の目安、材価の目安等を知ることができます。

施工支援

工事段階では、木材・製材協同組合等のネットワークで必要木材量を調達・供給することができます。事前の調達準備期間の確保も必要になります。

会津地域の木材組合等MAP



山・素材生産者

供給情報

需要情報

会津産材ネットワーク

会津地域の製材所等の
水平連携で製材供給へ

量 品質
使い方 調整 工期

供給情報

需要情報



建築主・建設現場

会津産材活用サポート事例の紹介



猪苗代中学校

猪苗代中学校の木質化支援プロセス

猪苗代町統合中学校の基本計画段階から、会津産材、県産材利用の可能性を検討するための木材利用推進連絡会議を3回開催。町、設計者、猪苗代木材協同組合、活性化センターの関係者で検討を行いました。会津産材は、校舎内の腰壁等の内装木質化に活用されました。

会議概要

サポート内容

基本計画

- 会議①
- ・木造化の可能性検討
 - ・木造化関連法規の紹介

地盤が悪いことから、RC造より軽い木造のメリットで、地盤改良費が軽減できること。大規模建築の別棟取扱いに関する法令事例などを伝えました。

設計段階

- 会議②
- ・木造と他構造のコスト比較検討
 - ・木造の維持管理方法の紹介等

工事費比較情報の紹介。RC造、S造と木造のコスト比較結果より、地盤の悪い敷地では木造は安くなること。木造の長寿命化設計の留意点等を紹介しました。

工事着工へ

- 会議③
- ・内装木質化事例紹介
 - ・内装木質化手法と木材調達検討

全国の地域材を活用した内装木質化事例を紹介。設計者と木材協同組合で今後の木材利用と調達方法等について協議を行いました。

設計者と猪苗代木材協同組合で木材調達に関する事前協議が行われました。

会津産材相談窓口

会津産材や木造建築への利用のことなど
お気軽に相談下さい

お問い合わせ先：会津流域活性化センター（事務局）

〒966-0901

喜多方市松山町鳥見山字下天神 6 番地の 3 福島県喜多方合同庁舎 3F
TEL/FAX：0241-21-8115 ・ E-mail：arrkc@violin.ocn.ne.jp